

南るもい農業情報広場（畑作）

留萌農業改良普及センター南留萌支所

TEL：(0164)42-8493 FAX：(0164)42-4079

<https://www.rumoi.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/a0003/b0032/>

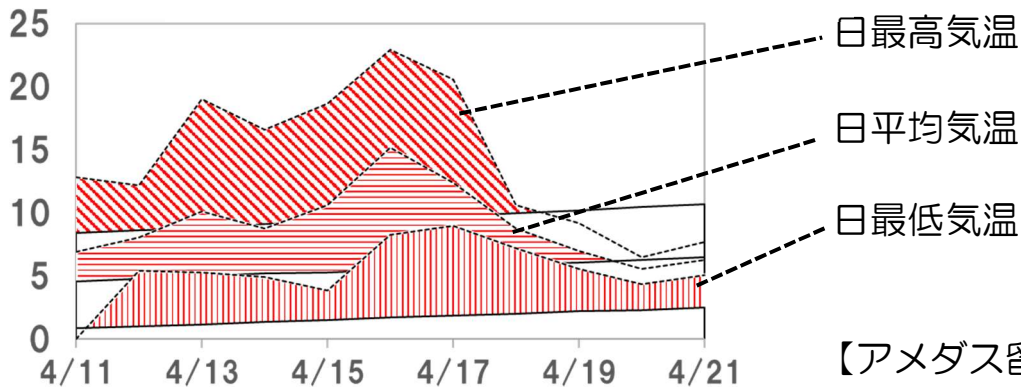


秋まき小麦 幼穂形成期の追肥

本年は融雪が平年より遅かったため、秋まき小麦の起生期は4月13日でした（作況平年値4月10日より遅3日）。

一方、融雪以降4月11日から19日までの日平均気温は平年を上回っているため（下図）、幼穂形成期の到達日には注意が必要です（作況平年値5月2日）。

温度（℃）（平年値以上の気温を塗りつぶし）



幼穂形成期の窒素追肥は1穂粒数の確保につながります。小麦の生育状況から追肥の要否を判断し、収量・品質向上を目指しましょう。

「きたほなみ」幼穂形成期の追肥例

施肥窒素量	4kg/10a	（硫安の場合、約 20 kg/10a）
-------	---------	---------------------

農薬安全使用 ～農薬を使うときの留意ポイント～

- ① 農薬の使用基準を守りましょう。
 - ・必ずラベルを読み、使用量・時期・回数を確認し、適正に使用しましょう。
- ② 飛散（ドリフト）防止に努めましょう。
 - ・風の強さや風向き、散布の方向や対象作物との距離に注意しましょう。
 - ・散布量を守り、適切なノズル、圧力で散布しましょう。
- ③ 散布後は器具をよく洗いましょう。